

世界遺産富士山をのぞく鏡石

富士山が世界遺産に登録されてから、一年以上が経過しました。信仰の対象・芸術の源泉として世界に認められた富士山ですが、韮崎にも信仰の足跡を先人たちが残しています。

国道 20 号線と 141 号線の交差点の南東に船山があります。遠くから眺めなければ分かりにくいですが、舟の形をした丘です。丘といっても七里岩と同じくハケ岳の山崩れと釜無川・塩川によって形作られたものです。その船山には姫宮神社が鎮座し、境内には市指定文化財の鏡石というドーナツ型に加工された石造物があります。この鏡石は、富士山を眺めるための装置なのです。

直径 76 センチの鏡石を支える土台には「寶曆七丁丑年（1757）九月吉日立焉」と刻まれています。前年の宝暦 6 年の 5 月に河原部村の甚八さんが、富士講の人たちに鏡石を建立する場所を一両で提供したことから、造られたということです。現在の場所は当初から数えて 2 度目の移設場所ということになります。

鏡石が建立された頃は、富士講が各地ではやっていましたが、建立の意図などは記録に残っておらず、謎のままです。宝永 4 年（1707）の富士山大噴火から 50 年後という節目の年ということや富士講の広がった町人層の住む宿場に近かったことなどが、鏡石の建立に関係しているかもしれません。

富士講の廃れてしまった現在は、姫宮神社の氏子の皆様によって維持管理され、江戸時代の人たちの見た鏡石からの富士山を今に伝えています。（記事・生涯学習担当 関間）



にらさき 遺産めぐり 第 6 回



ニュージーランドからの研修旅行団が来韮

9月24日から10月5日にかけて、ニュージーランドのクイーン・シャーロット・カレッジの学生 11 名と引率者 2 名が、研修旅行で韮崎市を訪れました。

滞在中は韮崎市文化協会の皆さんの指導のもと、書道、華道、茶道の体験を行なったほか、市内の学校訪問や観光地巡りをして、日本文化を体験するとともに、交流を深めました。

茅ヶ岳に魅せられ登頂すること 500 回 !!

茅ヶ岳は標高 1704 m の高さを誇り、山梨百名山に名をはせる山です。この山に魅了され登り続けているのが、砂原紘一さん（74 歳 甲府市在住 写真中央）です。平成 3 年に初登頂したのをきっかけに、毎月のように登り続け、今年 7 月には見事登頂 500 回を達成しました。

この秋、皆さんも韮崎市の顔とも言える身近な山「茅ヶ岳」に登ってみませんか？



国民健康保険より

10 月に国民健康保険で支払った額（保険者負担額）は、142,130,590 円（前年同月比 2.09% 減）で、1 人あたりの保険者負担額は、17,733 円（前年同月比 0.24% 増）でした。引き続き健康に気をつけ、医療費の節約にご協力ください。

市の人口	10月1日現在	(前月比)
男	15,303人	- 6人
女	15,524人	- 18人
計	30,827人	- 24人
世帯数	12,388世帯	13世帯

私たちの代表者を選ぶ大切な一票です！

韮崎市長選挙・市議会議員補欠選挙

☆投票日 11月16日（日）7時～20時

場所：市内 22 の投票所（郵送される入場券をご確認ください）

なお、選挙当日に都合により投票に行けないという方は、期日前投票や不在者投票をご利用ください。

■問い合わせ 韮崎市選挙管理委員会事務局  
(総務課総務担当内 内線 332～334)